

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.47
2013.4



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

北海道マリンビジョン21コンテスト

「北海道開発局長賞」を受賞!!

「北海道マリンビジョン21コンテスト」が3月に開催され、歯舞地区マリンビジョン協議会が13のモデル地域で最高賞となる「北海道開発局長賞」を受賞しました。2008年、2009年に続き、3度目の受賞です。

選定理由として、歯舞水産物の知名度向上のため各種催事へ積極的に参加するなど、地域マリンビジョンの中心テーマであるブランド化に向け、地域が一丸となって着実に取り組んでいる点が挙げられました。

さらに、地場水産物を活用した一流シェフによるお魚料理発表会や地元の学生に対する昆布加工の体験学習、道外本社の社員食堂での企業内マルシェ等、新たな取組を7項目も創出しており、常にビジョンの実現に向けた取組が発展・深化されていて、正に他地域のモデルとなっていると、高い評価を受けました。



<道外企業との連携による企業内マルシェ(上)と
地元学生による札幌での歯舞ブランドPR(下)>

コンブ加工を体験 ~歯舞小中の中学生が水産学習~

歯舞小中の中学3年生17人が4月17日(水)、歯舞漁協を訪れ、地元特産のコンブについて学びました。漁協職員による講義では、「地元産コンブを使った『はぼまい昆布しょうゆ』は20年以上前から販売し、今でも札幌圏のスーパーでトップクラスの人気を誇るベストセラーだ」などと説明を受け、その後、コンブ商品の加工場で計量や袋詰めなどを体験しました。

地元の特産品であるコンブを深く知ること、多くの生徒たちが水産業に興味を持ってくれることが期待されます。



<コンブの講義を受ける生徒たち>



<真剣な表情でコンブを計量する生徒たち>

滋賀県民会議の中学生 歯舞を視察

全国の青少年に北方領土問題を身近にとらえてもらい、返還要求運動を継承してもらおうと、北対協が県民会議単位に進める「北方領土青少年等現地視察」事業で、滋賀県民会議の中学生 19 人が3月26日（火）、歯舞を視察に訪れました。

生徒たちは、歯舞漁協のパノラマクルーズに乗船した後、歯舞漁協食堂で地元海産物をふんだんに使った昼食を楽しみ、水産業を基盤とした体験プログラムを通して歯舞の魅力を堪能しました。

今後も、北方領土学習に加え、歯舞地域の魅力ある素材をアピールできるような充実したプログラムを提供し、地域の活性化につながるよう努力していきます。

<パノラマクルーズに乗船>



<歯舞漁協食堂で歯舞の海の幸を堪能しました>



「歯舞お魚料理発表会」を開催

歯舞漁協、歯舞水産物ブランド化推進協議会が主催し、根室市が共催する「歯舞お魚料理発表会」が5月1日（水）、根室市で開かれました。歯舞産の魚介類を食材に魚食普及と地産地消を目的に開催しており、昨年に引き続き2回目です。歯舞で水揚げされたトキサケやタラ、アブラコ、ウニ、ツブなどを食材に、一流シェフが腕を振るい、イタリアンに仕上げました。

会場には来賓を含めて 200 人の市民が訪れ、「油子のレモン風味ペーストとアサリのマリネローズマリー風味トースト」「灯台つぶとキノコの香味バターソース炒め」「ウニとイカの冷製パスタ」など 8 品の料理を堪能しました。

オリーブオイルやガーリックを利かせたタラやウニ、洋風にアレンジしたアブラコなど、新たな美味しさを発見でき、市民からは「美味しい」という声とともに驚きの声も多くあがりました。

<歯舞産の魚介類がイタリアンとして振る舞われました>



<橋本清人シェフ>



編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

